

群馬県立近代美術館 企画展

うるわしき薔薇

ルドゥーテ『バラ図譜』を中心に

ピエール＝ジョゼフ・ルドゥーテ(1759-1840)は王妃マリー・アントワネット、次いでナポレオン后妃ジョゼフィーヌの植物画家として活躍しました。

本展では史上最も美しい植物図譜のひとつに数えられるルドゥーテの『バラ図譜』より選び出された約120点を中心に、植物画家・二口善雄(ふたくちよしお)や写真家・石内都(いしうちみやこ)の作品をあわせて紹介し、時代を超えて人々の心を捉える「花の女王」の人気の秘密に迫ります。

会期 令和4年7月9日(土)～8月28日(日)
※会期中、一部展示替えをおこないます。

[前期] 7月9日(土)～7月31日(日)

[後期] 8月2日(火)～8月28日(日)

会場 群馬県立近代美術館 展示室1

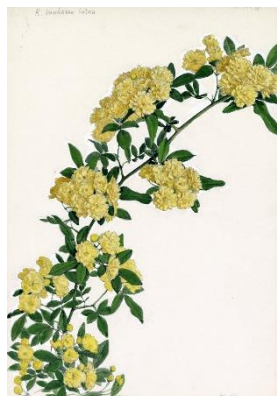
開館時間 午前9時30分～午後5時
(入館は午後4時30分まで)

休館日 毎週月曜日(7月18日、8月15日は開館)、
7月19日(火)

観覧料 一般800(640)円 大高生400(320)円
※()内は20名以上の団体割引料金
※中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方
とその介護者1名は無料

主催 群馬県立近代美術館

特別協力 コノサーズ・コレクション東京



二口善雄《キモッコウバラ》



石内都《Naked Rose #5》

今回のトピックス

■『バラ図譜』より約120点を展示

ルドゥーテ『バラ図譜』全169点より約120点の版画を「いにしへのオールドローズ」「中国からきたバラ」「新しいオールドローズ」「野生種およびその派生種」の4つのセクションに分けてご紹介します。

■二口善雄の『ばら花譜』原画

日本のボタニカル・アートの先駆者のひとりである二口善雄が手がけた『ばら花譜』の原画35点を前後期に分けて紹介します。

■石内都《Naked Rose》

写真家石内都が独自のまなざしでバラを撮った《Naked Rose》シリーズより22点を映像作品とともに紹介します。

■ゲストを迎えて

会期中、バラ研究の第一線で活躍する研究者・御坐由紀氏(千葉県立中央博物館・農学博士)の講演会や出品作家・石内都氏のトークを開催し、様々な角度からバラと美術についてお話を伺います。

■当館学芸員による作品解説会

※詳しくは当館HPをご覧ください。
お問い合わせください。

※新型コロナウイルスの感染状況に応じて変更または中止する場合があります。

問い合わせ先 群馬県立近代美術館
〒370-1293 群馬県高崎市綿貫町992-1
TEL.027-346-5560
FAX.027-346-4064



県立近代美術館 HP
(<https://mmag.pref.gunma.jp/>)